

講義内容詳細：司法通訳（スペイン語）Ⅰ

年度	Academic Year 2021
授業科目名	司法通訳(スペイン語)Ⅰ
学期	春学期
教員名	中西智恵美

講義概要

裁判や捜査、弁護士接見等、法律がからむ場面での通訳に際し注意すべき点などの理解を深めるとともに、通訳の基礎訓練を通じて実践で使えるスペイン語の知識や通訳技能の基礎を学ぶ。(オンライン)

達成目標

法廷通訳など日本の法律がからむ様々な場面での通訳をするのに必要な基礎的な知識と技能を身につける。

履修条件(前に履修しておくことが望ましい科目など)

通訳の訓練を始めるのに必要なレベルのスペイン語と日本語の語学力があり、好奇心と向学心を持って勉強を続けられること。
なお、サイトラの回は授業中に教材印字をするため、自宅にプリンターが必要。

授業計画

1	授業計画	イントロダクション、「通訳・通訳者・通訳人」
	事前学習	法廷通訳ハンドブックを眺めておく
	事後学習	授業ノート等を使って用語などの再確認をする
2	授業計画	基礎的な法律用語のスペイン語
	事前学習	ニュースなどで耳にする日本語の簡単な法律用語を調べておく
	事後学習	授業で覚えたスペイン語の法律用語などの再確認をする
3	授業計画	通訳基礎知識:通訳するためのメモ術など
	事前学習	効果的なメモを取るには何が必要か自分なりに考えてみる
	事後学習	テレビやラジオなどを使ってメモ取りの練習をする
4	授業計画	通訳基礎訓練:日本語リプロダクション練習
	事前学習	事前に与えられたテーマで基礎知識を増やしておく
	事後学習	新聞や市販の音声付き教材などを使ってリプロダクション練習

5	授業計画	短い文を使った通訳訓練(日本語からスペイン語)
	事前学習	出題を予想して構文を考えてみる
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認
6	授業計画	短い文を使った通訳訓練2(日本語からスペイン語)
	事前学習	出題を予想して構文を考えてみる
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認
7	授業計画	窃盗事件の模擬公判1(冒頭手続き、起訴状朗読など)
	事前学習	事前に渡しておく「書面」の翻訳(通訳準備)
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認
8	授業計画	窃盗事件の模擬公判2
	事前学習	事前に渡しておく「書面」の翻訳(通訳準備)
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認
9	授業計画	窃盗事件の模擬公判3
	事前学習	事前に渡しておく「書面」の翻訳(通訳準備)
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認
10	授業計画	窃盗事件の模擬公判4(証人尋問)
	事前学習	どのような「質問」が出てきそうか想像しておく
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認
11	授業計画	窃盗事件の模擬公判5(被告人質問)
	事前学習	どのような「質問」が出てきそうか想像し、訳し方を考える
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認
12	授業計画	サイトラの説明と訓練
	事前学習	事前に与えられたテーマで基礎知識を増やしておく
	事後学習	新聞など(何でもよい)のサイトラをやってみる
13	授業計画	長文の訳出練習1
	事前学習	3～5行になるような文や文章を何かひとつきっちり訳してみる
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認
14	授業計画	長文の訳出練習2
	事前学習	課題の長文を訳しておく
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認

15	授業計画	まとめと理解度確認(試験)
	事前学習	今学期習った法律用語や通訳技術などを再確認しておく
	事後学習	難しかった点などを振り返る

授業方法
模擬公判を含め、実際にいろいろ訳す機会を多く設ける。 説明中にも当てて答えてもらうことがある。 起訴状等の翻訳など、事前準備が必要な回もあるので要注意。

成績評価方法
成績は理解度確認試験の点数と授業態度、授業中の通訳上達度などで総合評価する。

講義内容詳細：司法通訳（ベトナム語）Ⅰ

年度	Academic Year 2021
授業科目名	司法通訳Ⅰ
学期	春学期
教員名	Tran Thi My

講義概要
通訳全般に通じる心得を理解した上で、司法通訳人として働くために必要な知識および技術を学んでいく。

達成目標
本授業の達成目標は、2つある。1つ目は、司法通訳がいかなる行為であるか、ビジネス通訳や医療通訳など他の分野とはいかなる共通点・相違点があるか、いかなる心構え、役割および知識が求められているかを理解することである。2つ目は、現場に即した教材を活用してノートテイキングや定型文言の訳出訓練など様々な通訳訓練を通して、実践的技能を体得することである。

履修条件（前に履修しておくことが望ましい科目など）
『法廷通訳ハンドブック 実践編＜ベトナム語＞（改訂版）』、最高裁判所事務総局刑事局監修、法曹会発行、本体2,500円+税 を事前に入手すること。

授業計画		
1	授業計画	授業内容の説明、通訳の定義、分類、司法通訳の位置付け
	事前学習	通訳の定義、分類について考えておく
	事後学習	授業で学んだ内容をこれまで経験した通訳の仕事と照らし合わせて整理する
2	授業計画	話し言葉と書き言葉、通訳と翻訳
	事前学習	話し言葉と書き言葉、通訳と翻訳の違いについて考えておく
	事後学習	課題①：テレビのCMやバス・電車車内広告のキャッチコピーを1つピックアップして即座に訳出した通訳バージョンと推敲した翻訳バージョンを用意して、次回の授業で発表する
3	授業計画	課題①発表＆ディスカッション、通訳に必要な言語力
	事前学習	A I I C (国際会議通訳者協会) の規定における通訳者の言語力についてネットや本などで調べておく
	事後学習	欧米、日本、そしてベトナムの言語事情について考える
4	授業計画	通訳の過程
	事前学習	経験してきた通訳の仕事を振り返って、自分が通訳する際にいかなる流れを経て作業しているかについて考えておく
	事後学習	授業で学んだ通訳の過程を意識してドラマなどに出てくる日常会話を通訳してみる

5	授業計画	ノートテイキング
	事前学習	通訳のためのノートとその他のノートの違いについて考えておく
	事後学習	授業で学んだノートテイキングの原則を意識してニュースなど短いスパンでノートをとってみる
6	授業計画	ノートを見ながらの通訳
	事前学習	ノートテイキングの原則を復習しておく
	事後学習	授業で自分がとったノートに対して問題点を洗い出して、改善の方法を考える
7	授業計画	サイト・トランスレーション
	事前学習	サイト・トランスレーションについてネットや本などで調べておく
	事後学習	課題②: 授業で提示された原稿に対して別紙に完全にベタ訳をして、次回の授業でセグメントごとにサイト・トランスレーションで逐次通訳するために、声を出して読んでみるなど十分な準備をする。
8	授業計画	課題②発表 & ディスカッション、直前に渡された原稿のサイト・トランスレーション
	事前学習	サイト・トランスレーションの準備方法を復習しておく
	事後学習	授業で自分が行った準備作業に対して問題点を洗い出して、改善の方法を考える
9	授業計画	自習のための訓練方法の紹介: リプロダクションやシャドウイングなど
	事前学習	自分が普段どのように通訳を練習しているかを振り返っておく
	事後学習	授業で紹介された訓練方法で仲間と練習して評価し合う
10	授業計画	(「通訳してみる」による) 法律用語の訳語の確認
	事前学習	ノートテイキングの原則を復習しておく
	事後学習	自分なりのグロスリーを作ってみる
11	授業計画	実習①: 弁解録取手続(1)
	事前学習	弁解録取手続についてネットや本などで調べておく
	事後学習	課題③弁解録取手続の模擬演習: 第13回の授業でのグループ発表に向けて、役割分担やスクリプト作成などの準備に着手する
12	授業計画	実習②: 弁解録取手続(2)
	事前学習	実習①の内容を振り返って整理しておく
	事後学習	第13回の授業でのグループ発表に向けて各準備作業を完了させる
13	授業計画	課題③弁解録取手続の模擬演習 グループ発表 & ディスカッション
	事前学習	グループメンバーとリハーサルしておく
	事後学習	自分のグループと他のグループの発表内容を振り返る

14	授業計画	実習③: 勾留質問手続
	事前学習	勾留質問手続についてネットや本などで調べておく
	事後学習	課題④: 第15回の授業でのグループ発表に向けて、役割分担やスクリプト作成などの準備に着手する
15	授業計画	課題④勾留質問手続の模擬演習 グループ発表&ディスカッション
	事前学習	グループメンバーとリハーサルしておく
	事後学習	授業でのグループ発表&ディスカッションの内容、そして前期で学んだことを振り返って、整理する

授業方法

講義の際は、講師と受講者のやり取りを交えた双方向で行う。課題の発表&ディスカッションの際は、受講者は主体的・能動的に参加し、講師は適宜コメントする。

成績評価方法

課題: 60%、授業中のパフォーマンスと出席状況: 40%